

福生市8月のイベント

2日(火)～14日(日)	ヒロシマ・ナガサキ「原爆と人間」パネル展
4日(木)～7日(日)	第66回福生七夕まつり
25日(木)	松林分館コンサート

**まちの写真ニュース**  
8月4日(木)・5日(金)・6日(土)・7日(日)に第66回福生七夕まつりが開催されます。



今号の主な記事 3面市職員募集 4面くるみる ふっさ ガイドツアー 5面臨時福祉給付金等の申請受付 6面敬老大会にお越しください 7面がん検診等予定表 8面ご利用ください 子ども家庭支援センター 9面成人式実行委員募集！ 10面寿生きがいひろば

## 平和のつどいを開催します

### 市民が語り継ぐ昭和

今年も「平和のつどい」を開催します。入場無料となっていますので、皆さんお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。

29回目となる今回は、「市民が語り継ぐ昭和」をテーマに、貴重な当時のお話を講演していただきます。

今年、市内在住の近田明良氏<sup>ちかだあきよし</sup>にシベリア抑留の体験を中心にご講演いただく予定です。

また、今年もご好評により、福生市出身のジャズシンガー、ダイナマイト・ミキ氏、サンサンシンガーズをゲストにお招きし、懐かしい歌謡曲を会場の皆さんと一緒に歌う演奏会を企画しています。

さらに当日の午前10時から午後3時まで、丸木美術館所蔵「原爆の凶」の複製を市民会館1階展示スペースで展示します。

※郷土資料室で企画展示「平和のための戦争資料展」を9月25日(日)まで、ほかに、公民館で平和事業を開催しています(詳細は広報ふっさ7月15日号をご覧ください)。

【日時】8月14日(日)午後1時開場、1時30分開演

【場所】市民会館小ホール(つつじホール)

【定員】当日先着260人

【問合せ】総務課総務係 ☎ 551・1576

▼講演会

【テーマ】「終戦と抑留の記憶」～極寒のシベリアからウクライナへ生死を分けた10,000km～

【講演者】近田明良氏

▼演奏会

【テーマ】「みんなで歌おう昭和の歌」

【出演者】ダイナマイト・ミキ氏、サンサンシンガーズ



市民が語り継ぐ昭和  
平成28年8月14日(日)  
午後1時30分～午後3時30分  
(午後1時00分開場)  
市民会館小ホール(つつじホール)  
入場無料

### 福生市表彰式が行われました

福生市表彰条例に基づき、次の方々が7月2日に表彰されました。(表彰順)

「一般表彰」

▽文化財保護審議会委員として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰

**北原進氏**

▽学校歯科医として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰

**蛭名勝彦氏**

▽交通安全推進委員会委員として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰

**秋山朋勝氏**

▽行政改革推進委員会委員として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰

**山下真一氏**

▽明るい選挙推進委員として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰

**横山百世氏**

▽保護司として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰

**石川庄二氏**

▽消防団員として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰

**相羽克洋氏、佐藤隆一郎氏、古谷光良氏、小泉洋司氏、鈴木大基氏、小幡洋介氏、大盛浩行氏、桑林大和氏、古谷純一氏、高橋良輔氏、長田一樹氏、田村力氏**

▽市行政の重要性を深く認識し、市内の小学校に太陽光発電設備一式を寄附した行為に基づく表彰

**アサヒビール株式会社**

【問合せ】総務課総務係 ☎ 551・1576



### 公民館主催事業

#### 二人の戦争体験者に聴く「学徒出陣と機銃掃射攻撃」

神宮外苑で行われた学徒出陣壮行会で、2万5,000人の学徒を見送った方、また、旧陸軍多摩飛行場(現横田基地)で勤労奉仕の最中に、機銃掃射攻撃を受けながらも一命を取り留めた方の体験談を聴きます。

【日時】8月13日(土)午後1時30分～3時30分

【場所】公民館松林分館

【対象】市内在住・在勤の方

【定員】先着50人

【講演者】瀧島百合子氏「学徒出陣を見送る」・亀田宏氏「機銃掃射攻撃に遭う」

【申込み】8月3日(水)から公民館松林分館 ☎ 552・3624へ。

子育て世代に選ばれるまちに  
日本の人口は、江戸幕府成立のころには約1,200万人、明治維新のころには約3,300万人、第2次世界大戦終戦時には約7,200万人と順調に増え続けてきました。しかし、先日(8月1日)現在の日本人の人口は約1億2,589万人で、21年をピークに7年連続で減少しているそうです。

福生市ではかねてより人口減少対策のひとつとして、子育て世代の定住促進のための支援に積極的に取り組んできました。病児保育の実施や保育園保育料の据置き、私立幼稚園保育料等の助成を行うなど子育てしやすい環境を整え、待機児童ゼロも達成しました。

また、英語教育やICT教育を推進するなど、教育環境の充実にも力を入れています。

ほかにもファミリー世帯向けの住宅取得助成など、さまざまな側面から支援を進めてきた結果、市の人口の社会減に改善傾向が見られ、子育て世代も増えつつあります。

7月には子育て世代の方々が気軽に集まって交流や相談ができる場として、「ふれあいひろば」を子ども応援館内に開設し、来年9月からは中学校給食も開始し、福生の子育て環境はますます充実します。

子育て世代の方々から「住みたい」と選ばれ、お年寄りになるまで「住み続けたい」と思っていただけ、これからは力を取り組んでいきます。

子育て世代に選ばれるまちに  
日本の人口は、江戸幕府成立のころには約1,200万人、明治維新のころには約3,300万人、第2次世界大戦終戦時には約7,200万人と順調に増え続けてきました。しかし、先日(8月1日)現在の日本人の人口は約1億2,589万人で、21年をピークに7年連続で減少しているそうです。

福生市ではかねてより人口減少対策のひとつとして、子育て世代の定住促進のための支援に積極的に取り組んできました。病児保育の実施や保育園保育料の据置き、私立幼稚園保育料等の助成を行うなど子育てしやすい環境を整え、待機児童ゼロも達成しました。

また、英語教育やICT教育を推進するなど、教育環境の充実にも力を入れています。

ほかにもファミリー世帯向けの住宅取得助成など、さまざまな側面から支援を進めてきた結果、市の人口の社会減に改善傾向が見られ、子育て世代も増えつつあります。

7月には子育て世代の方々が気軽に集まって交流や相談ができる場として、「ふれあいひろば」を子ども応援館内に開設し、来年9月からは中学校給食も開始し、福生の子育て環境はますます充実します。

子育て世代の方々から「住みたい」と選ばれ、お年寄りになるまで「住み続けたい」と思っていただけ、これからは力を取り組んでいきます。

**全力投球**

福生市長 加藤育男

ふれあいひろば開所式にて

